## 平成23年10月

### 第7号

社会福祉法人未来・ねりまを支える会会報

#### 日次

口久
コラム「東日本大震災について」
· · · · · · · · P 1
ねりま事業所だより・・・・・P2
ねりま第二事業所だより・・・P3
事務局だより・・・・・・・・P4
支える会だより・・・・・・・P4
幼児教室とことこだより・・・・・中紙表
ねりま第二収穫祭開催・・・・中紙裏
無料相談会のお知らせ・・・・中紙裏

社会福祉法人未来・ねりま 発行所 〒176-0013 東京都練馬区豊玉中 4-10-6 TEL 03-3948-0275 FAX 03-3948-5864

法人 E-mail honbu@mirai-nerima.or.jp 移行支援 E-mail ikou@mirai-nerima.or.jp

継続支援 E-mail keizoku-1@mirai-nerima.or.jp ねりま第二 E-mail keizoku-2@mirai-nerima.or.jp 幼児教室 E-mail youji-1@mirai-nerima.or.jp ホームページ http://www.mirai-nerima.or.jp.

して、

育成会を経由して、

送金しています。

族も安心できたのではないかと思います。

当法人としては、

今回

の教訓を踏まえ、

緊急災害

ご理解の程よろし

家庭にも周知徹底されていれ 応策がきちんと定まっていて、

ばもっと利用者もご家 そのことが事前にご 当法人に緊急時の

地 域法人被災地支援を行って

についての話を聞いてきました。 一事業所を訪問し、 法人協議会の一員として、 六月二七日 ねりま事業所就労継続支援 から二九日までの三日 被災の状況や今後の活動状況 福島県郡山市にある 間、 宇野 育成会地

外の活動に制限が出てしまい、 ´ました。 出来ない現状がありました。 福島県は原発の被害も大きく、 事業所を毎日休まず、 組んでい る利用者の姿がとても印象的であ 出来る事を一生懸命に 思う様に生産活動 その状況の中で 各事業所も施設

法人未来。 三月十一日に東日本大震災が発生し、 また多少の利用者の帰宅に時間がかかりまし 法人としては、 皆さんを無事にお送りすることが出来まし ねりまの各事業所は大きな被害も無 未来・ねりま事務局長 震災時の経 験をもとに、 社会福祉 洋

連

絡

がとれない等、

私達は予想もしていなかっ

模震災時の 防災マニュアルと備蓄品の検討を進

様々な問題に直面しました。

当

一日は、

管理者が集まり緊急の会議で、

利 門者を

車で家まで送るという対応をとりましたが

、これ

あくまでも緊急の措置であり、

支援として、東京都育成会の地域法人の一員と ていま また、 職員を派遣するとともに、 被災した福島県、 宮城県の障害者施設へ 義捐金を集めて

今後も大規模震災時対応の準備を進めるとと 被災地への支援を息長く続けていきます。 時 くお願いいたします。 にご説明したいと思いますので、 、の対応策について準備を進めており、早急に皆様

に、

東北被災地視察を終えて

平成二三年八月二一日より二三日まで、 りま第二事業所 相原 被災地 孝授

に流 も酷 木々は塩害のため赤く染まり、 察のため宮城県に行ってまいりました。 るだけの抜け殼になった町でした。また上の方まで 私 され何も無く、 < 達が視察したのは南三陸町で、その被害は そこにあったはずの南三陸駅ですら、 町全体も所々に鉄骨が立ってい 被害の大きさを 津波

ならないと痛感いたしました。 職員として考えると、「まずはみんなが生き残 南三陸町長のお話でもありま その為の対策を、しっかり考えていかなけ 未来

活動が出来たらと思います。

0

出来たネッ

トワークを大切

今後も一緒に

製品を東京で販売していくと共に、

今回つ

なぐ事

育成会地域法人協議会として各事業

所

0 自

ました。

震災時の対応について

三月十一日の東日本大震災では、

激しい揺

ねりま事業所就労移行支援

柴山

交通機関が寸断されて自宅に帰れない、

家族と れに加

東日本大震災にあたって

## ねりま事業所だより

## 

平成23年、就労移行は11名の利用者でスタートしました。10月現在、1名の方が就労、1名の方が新たに利用を開始され、11名で活動をしています。



8月には、課外活動として東京ドームシティへボウリングに行きました。日時、活動内容はもちろん、待ち合わせ場所や交通手段も自分たちで考え計画をしました。 所内ではできない活動を思い切り楽しみ、良い思い出が出来ました。

所内では、箱おりや清掃の仕事、就労に向けた勉強会をしています。今年度は就労を目標にされている方が多く、企業での面接や実習も行っています。

個別支援計画に基づき、それぞれが自分の目標に向け て日々活動をしています。



## 新路網路(B型)玄岩事業

今年度より35名で始まった就労継続事業は、5月と8月に1名ずつ新しい利用者さんが加わり、 計37名で活動しています。職員も新しく1名入り、ますます活気が増えてきました。これから年末に 向けて、利用者職員ともども、受注に清掃、喫茶や行事に精いっぱい取り組んでいきたいと思います!



これから落ち葉の時期に入 り、清掃が厳しくなってきま す。砂場の篩かけも頑張って います!

> 5月~10月までは行事ラッシュでした!楽しい思い 出がたくさん増えました♪



## 行事矛定

◎平成23年

10月 宿泊訓練(山梨県)

12月 障害者フェスティバル

親の会クリスマス会

年忘れ会

◎平成24年

1月 仕事始め

3月 皇居マラソン大会

年度末バスハイク

## ねりま第二事業所だより

### ●平成 23 年度行事報告

#### 5月 東京都障害者スポーツ大会

今年のスポーツ大会は、ねりま第二事業所から 18 名の利用者が参加しました。今年も、陸上と水泳に別れて 参加しましたが、どちらもメダルを獲ることが出来ました。その日は、台風の影響で大雨でしたが陸上に参加し た利用者は、雨の中を元気いっぱい走りました。



#### 6月 新人さん歓迎バスハイク

入所した新しい仲間3名バスハイクに行きました。場所は、さ いたま市大宮にある鉄道博物館と、埼玉県草加市にある「草加せ んべい手焼き体験」に行きました。



#### 納涼福祉盆踊り大会

今年も練馬区立豊玉公園で、納涼福祉盆踊り大会がありました。ねりま事業所とね りま第二事業所は、太鼓の演奏を行いました。当日は、沢山のお客さんに観てもらう 事が出来ました。また、来年も頑張ります。





#### 9月 スポーツの集い

他の参加団体さんと一緒に、たくさん体を動かしました。会場には、利用者が描い たポスターが沢山展示されていて、どれも素敵なポスターばかりでした。





## ●クラブ活動の紹介

ねりま第二事業所では、作業以外にクラブ活動も行っています。園芸クラブ・新聞クラブ・手芸クラブ・水泳クラ ブがあり、自分たちの希望するクラブに入ってそれぞれ活動しています。前回は、園芸クラブの紹介をしたので、今 回は手芸クラブの紹介をします。



こんにちは~!手芸クラブは、利用者 10 名・支援員 1 名で行っ ています。毛糸でアクリルたわしとボンボンヘアーゴム、布で箸袋 と巾着袋、クルミボタンでバッチを作っています。将来的には、自 主生産品として販売していきたいと考えています。

担当支援員 上田有希











### 職員の豆知識

初めまして、藤原里佳です。 ねりま第二事業所にきてから 約半年、様々な行事にも参加 することができ、充実した 日々を過ごしております。私 は、音楽を聴いたり、歌をう たったりするのが好きなの で、レクリエーションを通し て、ねりま第二事業所の皆さ んと楽しく過ごしていきたい と思います。

法人本部 理事事務局長 齋藤 洋

#### ●平成23年度上期事業活動概要報告

#### 1. 本部事務局

- (1)相談支援事業に対する業務推進——ねりま相談支援事業所は東京都の指定を受けて6月1日に開所しましたが、 事業所利用者等はサービス利用計画給付対象ならないとのことで、相談支援事前相談を実施しました。
- (2)練馬区立大泉障害者地域生活支援センターとの業務推進――練馬区立大泉障害者地域生活支援センターとの業務推進は順調に推移し10月24日には成年後見制度に関する講演会を共催で開催することになりました。
- (3) グループホーム(GH)・ケアホーム(CH)事業計画の推進

ねりま高松事業所/ねりま高松グループホーム(仮称)は、7月に東京都へ事業計画を提出しました。

(4)幼児教室「とことこ」児童福祉法の児童発達支援事業への移行対応策

今までの練馬区独自事業の補助金と同様に運営出来るように、練馬区関係各位に要請行動を行いました。

#### 2. ねりま事業所

#### 2-1就労移行支援事業

- (1)年度始めは利用者11名(定員9名)で開始、7月に1名が就労、同月1名が利用開始しました。
- (2) 個別支援計画の書式を変更し、年度支援計画を月単位で見られるようにし、支援の効果を上げました。
- (3)池袋の喫茶店で延べ23名が実習を行い、就労定着支援では週1回の訪問打ち合わせを行いました。

#### 2-2就労継続支援 B 型事業

- (1)利用者35名でスタートし、新規利用者2名が入所、現在利用者総数37名になりました。
- (2) チラシ封入は月1回の発行になりましたが、封入枚数が増加えた為、大幅な減収にはなりませんでした。
- (3) 個別支援計画は利用者ニーズの把握と支援の充実に力を入れると共に、相談支援部門と連携をして、一人ひとりの支援目標にしっかりと取り組めるように実施して行くことを確認しました。

#### 3. ねりま第二事業所 就労継続支援 B 型事業

- (1)利用者主体を目的にした作業方法の見直しを行いました。
- (2) 個別支援計画は、目標達成を実行できるように支援し、記録を活かしモニタリング評価を行いました。
- (3) レクレーションクラブ活動の充実では、4 つの教室と 4 つのクラブ活動を月各 1 回行う余暇支援を行いました。
- (4) ねりま第二事業所施設公開は10月29日(土)に利用者主体で、近隣交流を兼ねた収穫祭として開催します。
- (5) グループ活動でのグループホーム見学・体験活動の第一回は7月25日にやすらぎガーデンを見学しました。

#### 4. 幼児教室「とことこ」事業

- (1)練馬区心身障害児訓練事業の補助金が終了しますので、来年度からの新体制に向けて模索検討を開始しました。
- (2)保育・療育に関して在室の子どもや親達への細やかな支援を続け、就園や就学に繋げ、卒室親への相談を行う。
- (3) 卒室の保護者会、ママ達の会「ぽこあぽこ」が立ち上りましたので、教室の応援団的な活動に期待しています。

## 支える会だより

#### ○社会福祉法人未来・ねりまを支える会入会のご案内

- <目的>(社福)未来・ねりまのねりま事業所、ねりま第二事業所、幼児教室の充実発展と利用者の支援に寄与すること。
- <会 員> 利用者・保護者、役員・職員・お取引業者等の法人関係者、親の会会員等でどなたでも入会出来ます。
- <年会費> 1口 2,000円ですが、希望口数としては、個人1口以上、団体・企業等5口以上でお願いしています。
- <振替口座>郵貯00110-4-544768社会福祉法人未来・ねりまを支える会(払込料金は会負担で手数料は無しです)
- <お問合わせ> 練馬区豊玉中 4-10-6(社福)未来・ねりま ねりま事業所内 TEL3948-0275 FAX3948-5864 支える会事務局(齋藤、江連)にご連絡下さい。入会申込書兼入会受付書及び会則をお送り致します。

## 幼児教室とことこだより

4月に26名で、賑やかにスタートし5カ月の月日が経ちました。 母子分離に泣いていた子も、笑顔で分離が出来るようになり、教室での 活動も楽しめてきています。

お集まりでの歌を憶えたり、好きな手遊びもできたりしました。少しずつ友達と関わって遊ぶ姿も増え、微笑ましいシーンが見られます。



### <水遊び>

暑い夏、ビニールプールでの水遊び "プールは初めて!"という子もいましたが、 皆とても楽しんでいました。 水鉄砲の狙い撃ちは子供達の得意ワザ?

### <園外保育> F遠足に行ってきました~

~親子遠足に行ってきました~ 5月 井の頭公園で動物を見たり、乗り物に乗

井の頭公園で動物を見たり、乗り物に乗ったりしました。象の花子や、新幹線は大人気でした。

森林公園 とても暑い日でした。

大きな水遊び場で、元気いっぱい遊んできました。

10月)には、お芋掘りや運動会があります。



## <給食>

7月)

幼児教室の給食は、まず"イスに座って食べる"事から始まります。

半年が過ぎ、イスに座ってフォークやスプーンを使って食べられるようになってきました。

苦手なものも、少しずつ食べられるようになってきました。

今では「お皿からっぽ~♪」と自慢して見せてくれる子も 増えました。

人気メニューは、コロッケ、からあげ、カレーライスです。



# ねりま第二事業所収穫祭(施設公開)開催決定



平成年 10 月29日(土) 午前 10 時~午後 2 時まで

ねりま第二事業所内&周辺

職芸活動で利用者が育てた野菜と 料理教室で作った味噌でお味噌汁を 作ります。ぜひご賞味ください。 模擬店やゲームコーナーもやってます。

手苌クラブで作った製品も 当日限り実演販売いたします。 レアな商品各種勢そろい!! みなさんごそってお越しください。

#### 共同開催

東大泉2丁目区民農園収穫祭 区民農園利用者の方々にもご協力 頂いておいます。

パートナーシップ区民支援事業利用しています



## 練馬手をつなぐ親の会無料相談会のお知らせ

#### I. [専門職相談会]

- 1. 練馬手をつなぐ親の会主催 成年後見制度講演会併設専門職相談会:小池信行弁護士、権利擁護や外職員
  - (1) 日 時 平成24年10月24日(月)成年後見講演会終了後の午前11時50分~午後1時
  - (2) 場 所 練馬区役所アトリウム地下多目的会議室
- 2. 後見推進ネットこれから「成年後見と権利擁護の相談会」: 一般社団成年後見センター・ハーモニー (土肥弁護士)
  - (1) 日 程 9/26、10/24、11/28、1/23、2/27 (第4月曜日): 午後1~4時
  - (2)場 所 おちゃ福 練馬区東大泉5-31-2 大丸 No. 2 105号(大泉学園駅学芸大附属近傍)

#### Ⅱ. 「個別相談会]

- 1. 練馬手をつなぐ親の会主催 個別相談会 :成年後見部会長齋藤洋(社会福祉士) はじめ部会員
  - (1) 日 時 ① 9/29 ②10/27 ③ 11/17 ④ 12/8 ⑤1/19 ⑥2/16 (各木曜日):午前 10~12 時
  - (2)場 所 ①、②、④:親の会(ねりま事業所 相談室)/③、⑤、⑥:貫井福祉園団体交流室
- 2. NPO法人後見推進ネットこれから主催「成年後見と権利擁護の相談会」親の会担当日程:成年後見部会員
  - (1) 日 時 ① 10/17 ② 11/21 ③ 12/19 ④ 1/16 ⑤ 2/20 (第3月曜日):午後1~4時
  - (2)場 所 おちゃ福(練馬区東大泉5-31-2 大丸 No. 2 105号 大泉学園駅学芸大附属近傍)
- Ⅲ. 相談内容──成年後見制度利用一次相談や申立書の準備・書き方相談等、権利擁護センター職員や専門職紹介
- IV. 申し込み──親の会成年後見部会 TEL:(3948)0275 FAX:(3948)5864 齋藤、奈良部